

令和8年度 学校教育相談課題別研修D（貧困問題の理解と対応） 実施要項

- 1 目的 貧困問題について理解を深め、教育相談を実践するための理論や技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。
- 2 対象 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校の教職員

募集人数 80名

- 3 日時等 4月1日以降の変更部分に網掛けをしています。

回	日時	主題等	講師等
1	7月21日（火） 14:00～17:00	子どもの貧困問題の理解と対応 〔講演〕	立命館大学 名誉教授 野田 正人

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区荻田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他

- (1) 受付は30分前から。
- (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
- (3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
- (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- (5) 市町村立学校の教職員は、Plantより発行される二次元コードを用いて受付を行うため、事前に用意し、持参すること（データ可）。なお、アカウントがない方は、受付にてその旨を申し出ください。

- 6 担当室 教育相談室

令和8年度 学校教育相談課題別研修D（貧困問題の理解と対応）
シラバス

2342

1 目的

貧困問題について理解を深め、教育相談を実践するための理論や技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期		○	○										○	○	○
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	子どもの貧困問題の理解と対応	子どもの貧困問題について理解し、地域や関係機関との連携の在り方について認識を深める。	講演を通して、子どもの貧困問題の現状について学ぶとともに、子どもの貧困問題の早期発見、早期対応及び学校において必要な配慮や支援の在り方について学ぶ。	